

むらやま 議会だより



写真／楯岡小学校合唱部 クリスマスコンサートにて

もくじ

◎特別企画

「みなさまの声をお聞きしました」… P 2～3

◎12月定例会…………… P 4

◎代表質問…………… P 5～6

◎一般質問…………… P 7～9

◎議会活動レポート…………… P 10～11

◎市民の声…………… P 12



←携帯からはコチラ

みなさまの声を聞きしました



令和5年11月の改選時より、議会の活性化と改革に関する事項について協議・検討を行うため議会活性化委員会を設置しました。

委員会では議員が市民活動の場へ赴き、市民と接することが重要であると考え、ふるさと産業フェアで議会ブースの出展を行いました。

今回の活動が小さな起点となることで、市民が身近に感じ、市民に開かれた議会を目指す私たちの議会の在り方に向けた第一歩に繋がると感じております。

なんでもアンケート

- 制度や施設など、村山市にほしいものや、そのほかジャンルにとらわれずさまざまな意見を伺いました。
- 医療や福祉、子育て、生活の利便性の向上について多くの意見が寄せられました。
- 【医療・福祉】**
 - 医療費、介護施設費の不安
 - 老後の生活が心配
 - 高齢者のより所がない
 - 一人暮らしへのケア
 - 高齢者の移動手段の確保
 - 障がい者へのケア
- 【子育て・教育】**
 - 教育に繋がる地域活動
 - 学力向上
 - 学校統合が心配
 - 保育士の処遇改善を
 - 特別支援学校に広いグラウンドが欲しい
- 【農業】**
 - 6次産業化
 - 新規就農（後継者不足、高齢化）
 - 重点作物の更なる推進
 - 農産物の価格の安定

- 農業所得の安定
- 【防災】**
 - 避難情報の周知
 - 除雪が大変
 - 雪対策
 - 豪雨による災害対策
 - 農業への影響
- 【産業】**
 - 人材不足（すべての職種において）
 - 知識・技術を生かせる働く場所
 - 新規開業に対するバックアップを
- 【街づくり関連】**
 - 球場が欲しい、人工芝のグラウンド
 - リンクのグラウンドの有効活用
 - 勉強できる場所が欲しい
 - 小さい子どもが遊べる公園が欲しい
 - 若者の遊び場が欲しい
 - 商店街に賑わいを
 - 買い物する場所が欲しい
 - 面的な街づくりの整備、連携を
 - 特色ある道の駅を造ってほしい
 - 飲食店が集中していると使いやすい
 - 道路を広くしてほしい
- 【感想・その他】**
 - 楯山の整備
 - すべて行政任せにせず出来ることは自分たちで
 - 動物に優しい街にしたい
 - 若者が住みやすい街になってほしい
 - 子育て支援をありがとう
 - 若者の町内会参加が少ない
 - 未来を担う子どもたちに夢や希望を与える街へ
 - カラオケで街を元気にしよう
 - 図書館が素晴らしい
 - 市民ももっと政治に関心を
 - 健康診断が充実していて素晴らしい
 - 子どもが病気になると働きにくい
 - 産婦人科を公立病院に
 - 市、県、国道の草刈りが大変
 - イベントが多くありがたい

議会クイズ

設問に答えながら楽しんで議会の活動をし



クイズ王認定書

知ってもらえるように「Kahoot!」を利用して議会クイズを実施しました。

クイズ挑戦者には、議員の人数や1年間に開催される議会の回数、女性議員の人数など、議会に関する全10問の設問に回答していただき、全問正解者には「市議会クイズ王認定書」を贈呈しました。全議員の顔写真で取ったみなさまからは、思わず笑みがこぼれていました。

多くのみなさまに参加していただき、議会の役割や、議員の日頃の活動について興味を持ち、また理解していただけるきっかけとなるワークショップになりました。

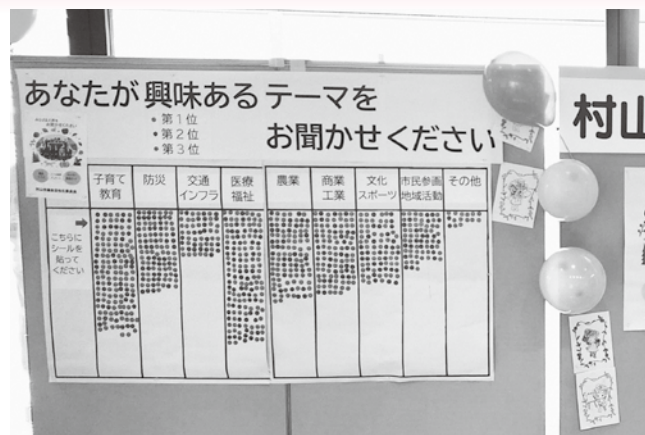
※Kahoot! (カフト)：学校などの教育機関で教育工学として用いられる教育用ゲーム（英語版）のプラットフォーム

ふるさと産業フェアで 市議会ブースを出展

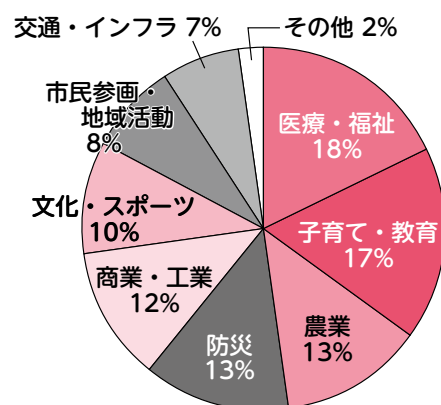
その結果、「医療・福祉」、「子育て・教育」に関心が高いということがわかりました。この結果を議会は真摯に受け止め、市民のみなさまの思いを共有しながら、議会活動・議員活動に反映させていきます。今後は一つのテーマに絞って、より深いアンケートも実施してみたいと考えています。

市民のみなさまが日頃の生活において、何に興味・関心があるのかを知るために、生活に関連する9つのテーマから、優先度の高いものの3つにシールを貼って投票していただきました。

シール投票アンケート



たくさんの方がアンケートに参加



テーマ別関心比率

総投票内訳

テーマ	第1位	第2位	第3位	合計
子育て・教育	76	41	25	142
防災	17	41	44	102
交通・インフラ	11	21	23	55
医療・福祉	45	57	47	149
農業	45	29	33	107
商業・工業	28	28	45	101
文化・スポーツ	34	31	16	81
市民参画・地域活動	13	22	33	68
その他	7	2	6	15
合計（投票数）	276	272	272	820



議会クイズに挑戦

一般会計補正予算

持続可能な農業を支援！ 大雨災害復旧をめざす

補正額2億4,016万円を追加し、
総額184億4,876万円

12月
定例会

令和6年第5回定例会は、11月29日から12月17日まで開催されました。
条例、補正予算など17議案を可決し、請願1件を継続審査としました。

補正予算の主なポイント

I 子育て支援

2640万円

- ① 子育て応援定住促進事業補助金
- ② 小学校入学祝金



- ③ 令和7年度小学校入学予定者に1人2万円支給

- ③ 高校入学等応援金



II 令和6年大雨災害復旧経費

1434万円

- ① 土地改良事業等補助金

- ② 復旧支援 12地区分

- ② 県営急傾斜地崩壊対策事業負担金

- ② 7月の大雨により被災した大淀地区土砂崩れ箇所対策事業費の追加

III 安心安全な生活の確保

3091万円

- ① 消防指令業務共同運用施設整備負担金



IV 農業の振興

6218万円

- ① 機構集積協力金

- ② (大倉と楯岡菅谷地の農地集積に対して支給)

- ② 産地生産基盤パワーアップ事業費補助金

- ③ (トマト生産部に対する補助金増額の不足分の追加)



- ③ 畑地化促進事業費補助金

条例等

○村山市定住促進住宅条例の一部を改正する
条例

定住促進住宅北町団地の一部をユニバーサルデザイン型住戸に改修したことに伴い、家賃について改正するものです。

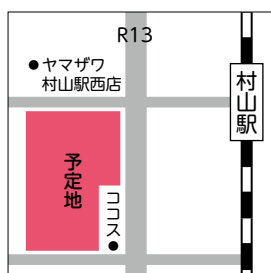
○村山市総合計画基本構想の策定
次の世代に引き継ぎ・受け継がれる魅力あるまちを目指し、総合的かつ計画的な行政の運営を図るため策定するものです。

どうなる！新「道の駅」

○財産の取得について

新「道の駅」整備事業における用地を確保するため、財産の取得について議決に付され可決しました。

- ・面積 4万1872㎡
- ・所有者 35名
- ・取得予定価格 1億3357万円



補正予算10月専決処分

○9月の大雨により生じた市道・林道の災害復旧及び浸水被害のあった事業所の支援

555万円

○衆議院議員総選挙に要する経費

1857万円

代表質問

市政・公明クラブ代表 矢萩 浩次

動画はこちら



Q 第5次村山市総合計画が令和6年度で最終年度となり、第6次総合計画策定審議会より基本構想案の答申を受け、第6次村山市総合計画基本構想が上程された。また、志布市長就任3期目の最終年を迎える。任期12年と同時期である第5次総合計画10年を振り返るとともに、第6次村山市総合計画基本構想も合わせ、今後の市政について。第5次総合計画10年、任期3期12年を振り返り、総括と検証について。

A 市民との対話が不足していると感じていた。市民目線で隔たりをいかになくすか、

いろんな世代の方々の質問や意見を聞くことを大事にし、隔たりをなくしていく。

Q 課題解決に大胆な発想、緻密な計画、迅速な行動で前例にとられずスピード感を持って取り組むことが出来たのか。

A これまでの既定にとられず変えていくこと、目先のことはなく5年10年先を見据え、除雪費はすぐ1・5倍に、翌新年度予算からは各種手厚く補助し支援をしてきた。

Q 三度の選挙で公約は同じものもあるが、公約の違いや変化はどのようなことから変わったのか変わらなかったのか。

A 12年の間に公約はどれくらい実施・達成されていくか。実績や成果の達成度はどれくらいか。



これからの開発が待たれる駅西エリア

Q 第5次総合計画のアンケート結果や検証の結果をどう受け止めているか。

A 完全でない部分もあるが、公約は全部実施している。公約はごく一部であり、基本理念に沿ってその時々が必要に応じ実施している。



再生整備が進められる楯岡まちなか

Q 第5次総合計画に定める将来目標人口を達成するため、計画された施策を積極的に重点的に市民と行政が協働で推進し、この目標人口を目指すところ、目標値より1793人、※社人研の推計よりも1092人下回る結果をしっかりと検証する必要があると考えるが、その結果と課題は何か。

増やしたいという希望を持ち目標を設定している。少しでも社人研を上回る努力をすることが政治であり政策である。

Q 第6次総合計画の基本構想の所感、また、将来目標人口について伺う。

A 基本は5次総合計画と変わらない。基本目標に従って柱をつくっていく。

Q 大雨や水害への対応と対策を含め、安心安全なまちづくりはもとより、これからの最優先・最重要となる施策を伺う。

A 9月の大雨は観測史上最多の雨量となった。国・県とも連携し、調査・検証し対応を考えていく。

Q 多選・長期市政に対する考えを伺う。

A 対する考えを伺う。人口減少対策など長期的に取り組まなければならない課題がある。

Q 次の世代に引き継ぎ受け継がれる魅力あるまちとなれるために、御製「最上川」のように市政を今後にも継続していくことが肝要である。今後の市政への熱い思い、決意・覚悟を伺う。

A 気候変動による災害や人口減少対策など課題が山積している。本市の将来を見定めるためにも頑張りたい。大きな柱はそのままに5年10年先の方向性を新たに示したい。

議会の傍聴へお気軽においでください。

◎インターネット中継も配信中 詳しくは、

<https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html>

村山市議会→議会中継

(ライブ中継・録画中継、外部リンクより)



↑携帯からはコチラ

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

代表質問

改革クラブ代表 高橋 卯任



動画はこちら



Q 新年度予算編成において、重点的に取り組む施策と方針について伺う。

A 本市の最重要課題である人口減少を食い止める方策と若者の定住促進を引き続き進めることを中心に、産業支援、子育て支援、防災減災へ対応する内容の予算を組んでいく。

Q 大型投資事業が予定されているが、現在の財政状況と今後の見通しはどうか。

A 財政の健全化判断を経ており、公債費、将来負担、赤字関係など全てにおいて、余裕を持ちながら基準をクリアしている状況となっている。市民の安全安心、市の持続的発展につながる事業には、しっかりと財源を投入

していく。

Q 社人研の推計によれば、令和17年の本市の人口は16425人と推計されている。その人口に基づいて、想定される問題を具体化し対策を検討するべきと考える。「人口が減少しても安心して住めるまちづくり」に取り組むべきと考えるがどうか。

A 人口減少問題に対応する諸課題については、これまでも対応してきている。少しずつ人口が減っていくが、これまで同様にその場に応じて臨機応変に対処していくものと考えている。

Q 災害を引き起こす大雨が頻発しているが、本市では中央地区の浸水対策が喫緊の課題であり、いち早く

改善すべきではないか。

A 国や県と対策について協議している。きちんとは計画をして、どうすればいいかを考えていかななくてはならない。市単独での対策は難しいため、国・県と一緒にやって対策を練り、市民の要求に応じてまいりたい。

Q 高齢者のみの世帯が増えてきていることで町内会や自治会の共助機能低下が心配される。災害発生時などのいざという場面での頼りになる町内会・自治会の再構築は、行政の責任において取り組むべきであり、早急に実態把握に努めるべきと考えるがどうか。

A 再構築にかかる実態調査は検討している。



いざというとき頼りになる地域力

12月定例会 審議討論

○議案第74号について

・反対討論

中里芳之議員

提案理由は、特別職給与の引き上げ理由を示していない。人事委員会の勧告は、引き上げの根拠とはならないからだ。物価高騰や社会保障後退で市民の暮らしが厳しさを増す中、根拠のない条例改正では市民の理解は得られない。

裏金問題も未解決のまま理由なく報酬を引き上げれば、議会への市民の信頼も低下する。

審議結果報告

(12月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ掲載しました)

議案等の名称			議員名	議決結果	市政・公明クラブ											改革クラブ		賛成	反対
					松倉慶子	森直也	瀧田順子	柴崎亮太	吉田創	田中正信	矢萩浩次	石澤祐一	大山正弘	秋葉新一	細矢清隆	高橋菜穂子	高橋卯任		
市長提出議案	第74号	村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	13	1
市長提出議案	第77号	令和6年度村山市一般会計補正予算（第9号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	13	1
請願	第3号	国民の尊厳を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出に関する請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	11	3

議案第74号・77号は追加提案されたものです。

請願第3号は請願に対する賛否ではなく、継続審査に対する賛否です。

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

☐=可決
 ☐=否決
 ☐=賛成
 ☐=反対
 ☐=欠席
 ☐=退席
 ☐=議長
 ☐=裁決



吉田 創

各産業界の

人材確保の現状は

答弁 人材確保が

困難になってきている

動画はこちら



Q 本市の人口は令和32年に1万1千人台（現在の約半分）になることが予測されている。人口が減っても、市の面積や農地は減らない。現在の生産性を維持、拡大するならば、デジタル技術の導入や外国人労働者を含め労働人口の確保をしなければならぬが、現状について伺う。

くなっていると考えますが、各業界の状況は。

A 【農業】通年雇用はいない。2経営体が2名ずつの合計4名を8月～9月の2カ月間受け入れた。【製造業】特定技能、技能実習生60名ほど働いている。【福祉業】1事業所で9名の特定技能労働者を、もう1つの事業所で技能実習生を2名

採用している。新たに1事業所が来年から外国人労働者を採用予定。

Q 外国人労働者の受け入れについて、市としての方向性は。

A 労働力確保に向けて企業努力をお願いしたい。

その他の質問
・利便性向上について

A 【農業】収穫期に集中して人手が必要。人材確保に苦慮している。さくらんぼが収穫できなかった例がある。【製造業】多くの事業所が受注量に見合った人材確保ができている。【建設業】人手不足である。【福祉業】年々、困難になっており、特に介護事業の人材不足は深刻。

Q 外国人労働者を雇用する事業所が多



農作業をしている外国人労働者



瀧田 順子

西部地区学校自校給食

ランチルームの必要性

答弁 食育の教育効果がある

動画はこちら



Q 令和10年開校予定の、義務教育学校の効果的な教育活動について伺う。

A 義務教育学校の特徴は、5年生からの教科教室制の導入や、中一ギャップの緩和、小中学生の異学年交流による社会性の向上などが期待できる。

Q 教科教室制で学び進化した時、学習スタイルの変化にとまどつてはいないか、子どもからのアンケートを取っているのか。

A きちんとしたアンケートは取っていないので今後作業部会などで研究をしていく。

Q 統合する4つの小学校はランチルームを活用して異学年交流を行い「教える・認める・助け合う・行動する」が生まれている新しい学校の特色とし



戸沢小学校ランチルームで楽しいお昼ごはん

て自校給食・ランチルームを設置し、地産地消の食育からシビックプライドを育て地域に残りたいと思える教育はできないか。

A 自校給食とランチルームがあれば調理師との交流や他学年交流・食育としても教育効果があるが、各校でどのように給食が提供されているのか、本市でどのような形にするのか、大久保小学校の活用も考え市全体を見て議論し考えていく。



松倉 慶子

災害時の電話対応について

答弁 時間外の電話対応を改善するように検討する

動画はこちら



Q 令和6年9月の大雨災害時、市役所に電話が繋がらなかったとの声があった。被害に不安を持つ住民からの電話は全て受信すべきではないのか。

A 通常は16回線、2名で対応しているが当時、土・日・祝日で守衛が1名で対応しており、電話が集中し繋がらない状態だった。今後は改善できるように内部で検討する。

Q 現在行われているさまざまな治水対策の進捗状況を市民に伝えるべきでは。

A 4年間で3回の災害があった。住民に防災への意識を持ってもらいたい。しかしそういう意見も理解し今後検討していきたい。

Q 今後の水害対策として、田んぼダムの活用、土のうステーションの設置はどうか。

A ションの設置はどうか。田んぼダムは実証実験の結果、降水を緩やかに河川に流す効果があるので農家の理解を得て取り組みを増やすべく検討する。

土のうステーション

は全国の市町村でも設置の事例があり、大雨の初期対応としても効果がある。平時設置しておけば、いつでも市民が自由に持ち出し備えることもできる。設置場所の件も含め検討する。



中央地区の内水による水害の様子



柴崎 亮太

人と猫の共生社会条例を制定してはどうか

答弁 非常に難しい問題である

動画はこちら



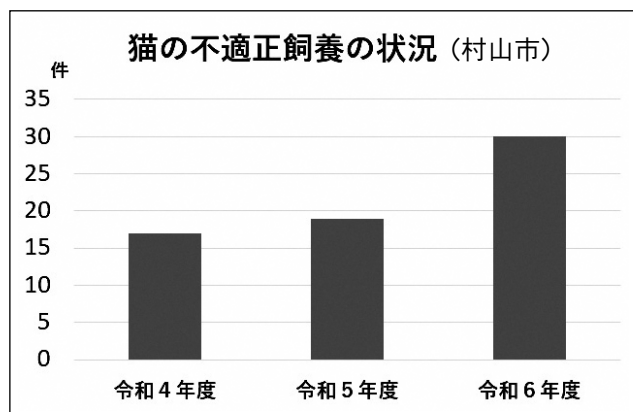
Q 不適正飼養については令和5年6月時点の19件より増加しており、状況が悪化していると感じるが、これまでの取り組みと課題について伺う。

A 人手が足りないため、多くの日数を要し解決に至らないことも少なくない。また飼主の意識が変わらないことにより振り出しに戻るケースがある。

Q 解決に至らない要因として飼養者の生活困窮が第一の理由である。不妊去勢手術の見直しが必要と考えるがどうか。

A 今年度の実績を基に補助を手厚くするなどの検討を行う。

Q この問題については専門性が高いことから動物愛護管理担当職員の配置が必要と考えるがどうか。



猫の不適正飼養は年々増えている

A 今回のところ保健所との連携で足りていると思う。今後の研究課題ではあるが今のところ難しい。

Q 問題解決に向けた本市としての姿勢を示すため、人と猫の共生社会の条例制定を検討してはどうか。

A 非常に難しい問題だと思う。

Q 現在行っている各種事業はすべて対症療法である。この問題に対する原因治療は、特に子どもたちへの教育の実施である。

長い時間がかかることではあるが、猫に関する問題解決のため未来に向けた施策の実施を強く要望する。



中里 芳之

教員増で 長時間労働の解決を

答弁 定数増を要望していく

動画はこちら



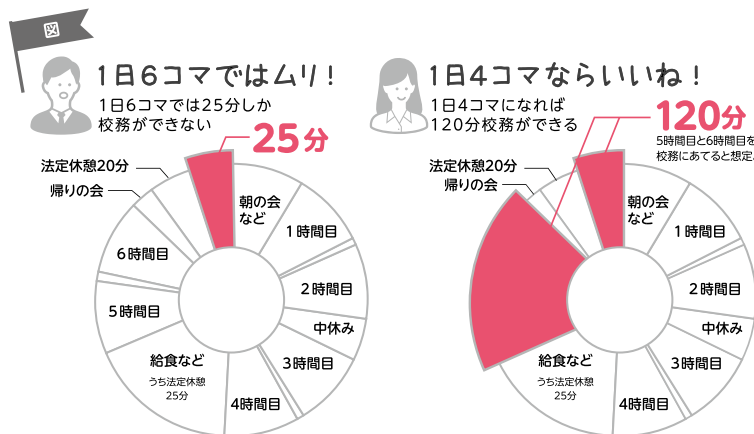
Q ①教員の働き方改革で長時間労働は改善されたか。②市の教職員配置は適正か。③不登校やいじめへの対応は。

A ①令和5年度時間外在校時間は、小学校は月平均36時間で県平均より長く、中学校は41時間で県平均より短い。ある程度の改善はあるが、学校規模に応じた対応が必要だ。②現場では一人でも多くの教員が必要と考えている。③いじめは減少しているが、不登校は小学校で増加。学習支援センターの支援員増員などで対応。

は定数増を放置しているからではないか。
A 現場では改革について頑張ってきたが、英語やICT教育が新たに導入されたり、多様性にも対応しなければならぬなど大変になってきた。定数は

少しずつでもきっちり担保してもらいたい。
Q 市長としても、定数増を求める意見表明を。
A 改革は実績が出ていないので、定数増は要望していく。

Q 国は定数増なしの学校週5日制を実施。その後も標準を上回る授業時数や、「ゆとり見直し」で標準自体も増やした。働き方改革で成果が出ないの



関東地方の小学校教員からの聞き取りをもとに作成。法定勤務時間(午前8時～午後4時半)を円グラフであらわした。色の部分が、授業準備など校務ができる時間帯。

パンフレット

「教職員の働き方を変えたい」(日本共産党)より

Q 現・道の駅の今後の利活用について、どのように考えているのか伺う。
A モータリゼーションによる道路網の整備が図られ、利用しやすい施設として活躍し、多大な収入源でもあり、市民の利用もあった。現在は、高速

Q 新・道の駅完成に伴いローズ・ブリッジは解体撤去と聞いているが、現時点での方針を伺う。
A ローズ・ブリッジは新・道の駅営業開始時点で撤去する方針である。市民からは「全国的に珍しい」との声もある。しかし、冬場の積雪対策や電気料は膨大な負担になる。また、老朽化しているため撤去しなければならぬ。

Q 新・道の駅完成に伴いローズ・ブリッジは解体撤去と聞いているが、現時点での方針を伺う。
A ローズ・ブリッジは新・道の駅営業開始時点で撤去する方針である。市民からは「全国的に珍しい」との声もある。しかし、冬場の積雪対策や電気料は膨大な負担になる。また、老朽化しているため撤去しなければならぬ。



大山 正弘

道の駅移転に伴う建物跡地利活用はどうするのか

答弁 市民の意見を聞きながら検討していく

動画はこちら



道路の開通に伴い交通量・利用者が減少している。

Q 現・道の駅の、現時点での総事業費を伺う。
A 土地購入費1億6200万円、建築工事費13億9800万円、開業以来のさまざまな改修工事費が9800万円で、指定管理

Q 現・道の駅の、現時点での総事業費を伺う。
A 土地購入費1億6200万円、建築工事費13億9800万円、開業以来のさまざまな改修工事費が9800万円で、指定管理

料が5億円。
Q 現・道の駅跡地利用について伺う。
A 跡地について、市民からは学童保育に利用してはとの意見が寄せられたり、有名なレストランの入居なども考えられ、運送会社からの問い合わせもあった。今後皆様とともに検討していく。



現・道の駅むらやま全景

市政・公明クラブ 行政視察

長野方面
10月9・10・11日

(1) 長野県諏訪市
・議会改革について
政治倫理条例・広聴活動・モニター制度・傍聴者託児サービス・手話通訳対応について研修してきました。

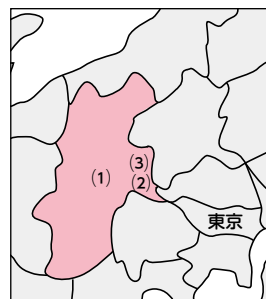


議会改革の説明を受ける

(2) 長野県川上村
・農業と外国人労働者の受け入れについて
レタスの出荷量日本一で、15歳以上の就農率が75・5%、遊休農地はありませんでした。1258名の外国人労働者



機械を導入した大規模なレタス栽培



働者を受け入れており、宿泊施設の整備も行っています。
(3) 長野県佐久穂町
・廃校利用と特色ある教育について



役場前にて

廃校舎を活用し、日本初のイエナプラン教育学校（私立小中一貫校）を開校。
町立小中学校も施設一体型の一貫校で特色ある教育活動に取り組んでおり、子育て世代の移住者が増え、出生数よりも児童数が増加しています。

市政・公明クラブ 行政視察

埼玉方面
10月23・24・25日

(1) 埼玉県伊奈町
・バラ園誘客について
埼玉県最大のバラ園では「ドクターヘリの離着陸観覧」「巨大エアー遊具」など、誘客に向けた取り組みを行っています。



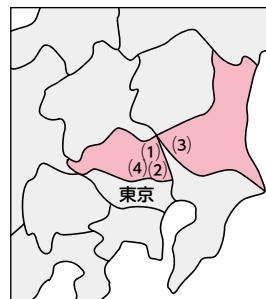
伊奈バラ園

(2) 埼玉県川口市
・防災力強化について
消防署の新設で、災害への即応体制や災害予防体制の強化が図られ、届出窓口の充実で市民サービスが向上されました。



東消防署にて

(3) 茨城県境町
・移住・定住政策について
定住人口の増加など



を図るため、①良質なサービス提供と経費削減②周辺環境との調和③地域経済活性化④子育て支援の4点に配慮していました。
(4) 埼玉県上尾市
・複合福祉施設「AGECOCO」について



AGECOCO 子ども用トイレ



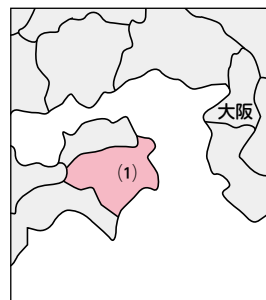
境町 自動運転バス

子どもたちが多様性を認め合い、豊かな人間性を育み、効率的で効果的な交流保育の推進が図られています。

改革クラブ 行政視察

徳島県上勝町
10月22・23・24日

(1) 徳島県上勝町
県中央部の山間部に位置し、全国に「葉っぱビジネス」の町としても知られています。
・ゴミを出さない「ゼロ・ウェイスト」事業



生ゴミは全世帯で堆肥化を行い、他のゴミは町民自ら収集施設に運び丁寧に分別していただきます。8割以上が再資源化されています。



不用品活用のためのリユース施設

・有償ボランティア・フシー事業
過疎地有償運送制度の適用を受け、家用車を使用したボランティアドライバーによる



8世帯23人が暮らす町営住宅

・廃校舎、跡地利用住宅整備事業
廃校舎の住居への改修や、校舎跡地への町営住宅整備など、若者や移住者の定住促進を図っていました。

議会活動

10月

- 2日 広報広聴委員会
- 3日 市老人クラブ連合会体育レクリエーション大会
北村山広域行政事務組合議会全員協議会・定例会
- 4日 議会運営委員会
災害対策支援本部役員会
- 6日 市一周駅伝競走大会開会式
山形県人東京村山会の集い
- 8日 広報広聴委員会
- 9日 市政・公明クラブ行政視察（～11日）
- 13日 二日町奴行列
- 20日 伝承館まつり
- 21日 全員協議会
議会活性化委員会
県及び市町村長・議長会議
- 22日 改革クラブ行政視察（～24日）
- 23日 市政・公明クラブ行政視察（～25日）
- 25日 そば感謝祭・新そば食味会
市芸術祭開幕式
- 26日 葉山中学校創立20周年記念式典
最上川さくら回廊村山市植樹式
- 27日 市防災訓練
県青少年健全育成県民大会
- 29日 総務文教常任委員会協議会
産業厚生常任委員会協議会（研修会）

11月

- 1日 市制施行70周年記念式典・祝賀会
- 2日 ふるさと産業フェア・議会ブース出展
- 6日 産業厚生常任委員会協議会
- 7日 県市議会議長会議会報研修会
- 10日 市道土生田拝見線開通式・完成祝賀会
- 11日 県市議会議長会定期総会
- 17日 大わらじの里 村山市観光物産展
- 18日 ブルガリア日本語弁論大会優勝者発表会
- 20日 共立衛生処理組合議会議会運営委員会
全員協議会
市活性化推進議員連盟役員会
- 25日 県知事・県議会議長と市議会議長会との意見交換会
議会運営委員会
- 26日 広報広聴委員会
- 28日 どぶろく新酒お披露目試飲会
共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 29日 全員協議会・本会議・予算特別委員会
市活性化推進議員連盟総会
議会活性化委員会

12月

- 2日 北村山公立病院組合重要事業要望活動
- 3日 代表質問
- 4日 一般質問（～5日）
- 9日 広報広聴委員会研修会
- 10日 予算特別委員会
- 11日 常任委員会・産業厚生常任委員会管内視察
- 13日 北村山広域行政事務組合議会議会運営委員会
- 16日 常任委員長会・議会運営委員会
- 17日 全員協議会・予算特別委員会・本会議
市商工会員交流講演会・交流会
- 18日 北村山公立病院組合議会運営委員会
- 19日 北村山広域行政事務組合議会全員協議会・臨時会
北村山教育賞表彰式
- 20日 広報広聴委員会
- 24日 北村山公立病院組合議会全員協議会・定例会
- 26日 広報広聴委員会

産業厚生常任委員会 研修会・管内視察

12月10日
12月11日

・大旦川排水機場視察

排水機場については山形河川国道事務所河川管理課より、大旦川河川改修と調節池については北村山河川砂防課より説明を受けました。

排水機場の改築完了で排水ポンプの信頼性が向上し、確実な浸水被害の軽減を見込むことができ、故障もなく内水排除ができています。最上川の増水が大旦川へ逆流することを防ぎ、大沢川・蟬田川などの雨水を速やかに流下させるための河川



調節池についてレクチャー

整備が行われていました。調節池については、大旦川の水位が一定以上になると越流堤から調節池へ流入し、貯まった水は排水機で最上川へ排水されます。調節池の面積は23ha、



南向きで日当たり良好

貯水容量は100万m³で、7・7ha・19万m³を暫定運用しています。
・定住促進楯岡北町団地
北町団地は平成5年建築の鉄筋コンクリート5階建ての共同住宅です。このうち1号棟103・104号室の2室が下肢障がい者用でしたが、入居の実績

がないので、入居率の向上を図るためにユニバーサルデザインに配慮した改修工事を行いました。日当たりは良好で、スロープ・LEDライト・ガス給湯器・システムキッチンが付いています。年齢や障がいの有無に関わらず誰でも入居できます。



車いすでも安心のスロープ

また県内13市の議会報をもとに、良い点や改善すべき点をご指導いただきました。研修で学んだ文章の表現方法や、読みやすい紙面作りのコツを活かして、今後も議会活

広報広聴委員会 議会報研修会

11月7日
酒田市



講師の質問にパネルで回答

動を市民のみなさんにわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。



市民の声



村岡 ^{さだはる} 定治 さん
(西郷)

～ 人が減っていく中で ～

西郷でスイカ、コメ、ニンジン、サトイモ、ハクサイなどを栽培しています。13年前まで東京でイタリアンのコックをしていました。

実家は兼業農家だったので、耕作面積が小さかったこともあり、大変なこともたくさんありましたが、現在では当時の約3倍になり、あと10年で今の2倍にしようと頑張っています。それは、農家の高齢化や離農によって耕作放棄地が出てしまい土地が荒れるのを防ぐためです。

これからは、今まで人が多くてできていたことが、人が減っていく中でやりづらい、できないことが多くなってきます。それは農業のことだけではありません。

議員の方々には、その問題を少しでも課題にしていきたいと思います。



ニンジン、サトイモ、スイカなどを栽培しています

〈表紙写真〉

令和5年後期より、合唱部の活動が地域移行となりました。これまでの歴史ある楯岡小学校の歌声をこれからも受け継いでいこうと、学校、保護者、指導スタッフが協力し合って活動しています。

令和6年11月17日に郡山市で開催された「全日本合唱コンクール全国大会」では「金賞」を受賞。地域移行してから大きな一歩を踏み出すことができたのは、いつも応援してくださる地域の皆様のおかげと、感謝していました。

表紙は毎年恒例の「クリスマスコンサート」で『つながる ひろがる 楯小ハーモニー』をテーマに開催されたコンサートの様子です。

お世話になった皆様に、感謝の気持ちを届けたいと美しい歌声を響かせていました。



全国大会で金賞を受賞しました

委員長
副委員長
委員

広報広聴委員会

細矢 清隆
高橋 卯任
中里 芳之
田中 正信
阿部 正任
瀧田 順子
森 直也
松倉 慶子

あとかき

已年は挑戦や変化に
対して前向きな姿勢を
示す年といわれています。
市議会もより一層頑
張ります。

村山市公式LINE

村山市公式LINEアカウントでは、議会、防災、子育て、イベント情報など、さまざまな情報を配信していきます。ぜひ、友だち登録をしてご活用ください。



LINEアプリ内
[友だち追加]で
二次元コードを
読み取ってください！→

